



キョーカンリョク

校長 西田 昌史

先月、小学6年生を陸上記録会の引率したときのこと。子どもたちと一緒に応援席で競技を見ていました。大川の子もたちは、大川の選手が出場するときになると応援席の最前列まで出ていき、それはそれは大きな声で応援をしていました。他校の子どもたちもそれぞれ応援をしていましたが、それとは比較にならないぐらいの大声援でした。他校の子どもたちと一緒に乗った帰りのバスの中でも大川の子どもたちだけは、テンション高くマジカルバナナを始め、隣にいた小湊小の友達も巻き込んで盛り上がっていました。疲れも見せず、みな終始笑顔です。

この様子を見ながら、「あれ、この光景どこかで見たことがある・・・。」と思いました。そして、9月にあった中学生の修学旅行がよみがえってきました。彼らは、奄美に向かう帰りのフェリーの中で、男女仲良く、先生も交えてUNOをしていました。その様子を見ながら、ほんとに仲の良い子どもたちだと感心したものです。

更に、先日の小中合同あまみっ子集会で、レクリエーションをしたときにも同じような光景を目にしました。小学生から中学生へ、中学生から小学生へ、大声援が送られます。しかも声援を送りながら、小学生も中学生もピョンピョン飛び跳ねています。その姿を見ているこちら思わず笑顔になる仲の良さです。

普段から仲の良さは感じていましたが、互いに大声援を送り合い、素直に喜びを表現する様子から、どうしてここまで仲がよいのだろうと考えていました。そんなとき参加したある研修会で「共感力」の話を聞く機会がありました。

共感力とは、相手が感じていることや置かれている状況を察知するだけでなく、自分自身もその感情を共有して感じることができる力。この能力は、他者との良好な人間関係を築く上で不可欠であり、コミュニケーションを円滑にするための基盤となる。

上記のような話を聞きながら、大川の子どもたちは、この「共感力」を身に付けているからだ！と合点がきました。

家庭、地域、学校での関わりから自然に共感力を育み、成長してきた子どもたち。あらためて、このすごい能力の持ち主を教育していく責任の重大さがこみあげてきました。これからも家庭で、地域で、学校で、子どもたちの「共感力」を大事に育てていきましょう。

令和7年12月の主な行事等のお知らせ(予定)

日	学校行事他	日	学校行事他
12/2	全校朝会	12/11	小:人権教室 小:クラブ活動
12/4	中:人権集会	12/13	土曜授業 小:黒米収穫祭 中:校区一周駅伝大会
12/5	小:読書まつり 中:駅伝試走⑤⑥	12/17	スクールカウンセラー相談日 中:弁当の日
12/9	市音楽発表会(小5~中3)	12/20	市学びフェスタ兼県PTA活動研究委嘱公開奄美市大会
12/10	学校評議員会	12/24	2学期終業式

12月は、「奄美群島日本復帰記念月間」、
12月25日は、「日本復帰記念日」です。


<https://x.gd/p4H6f>

大川小中ブログはこちらから。
だいたい毎日更新中！
ブログの内容を、家族の、地域の話題の一つにしてください。

10月の小学校行事を紹介します！



名瀬地区複式5校合同修学旅行(5・6年生)



奄美市小学校陸上記録会(6年生)

旧暦九月九日
びっこさらっこ

10月、11月の活動紹介！

学校自由参観週間

薬物乱用防止教室
(中学校)

あまみっ子集会



中1年国語(調べたことの発表！)



生徒会企画：みんなで遊ぼう Day！
(昼休みに鬼ごっこをしました)

